



12月8日(土)に下道沿道地権者と下道に接している私道の沿道にお住まいの方を対象に「第5回下道意見交換会」を開催し、「第4回下道意見交換会」において参加者から提案された「オープン外構化で敷地内にスペースを設ける方法」を改善策として検討を進めることを確認し、具体的なイメージなどについて話し合いました。

◆意見交換会の様子



◆主な意見等

○スペースのイメージについて

- ・消防車が通る時の待避スペースや消防車が停車する時のスペースとしては出っ込み引っ込みがあっても良いのではないかと。
- ・私道のとば口にある家で、隅切り部分を少しでも広くして、私道に面した部分に塀を設置してもらわなければスペースが取れて良いのではないかと。
- ・スペースが一軒の間口だけでは狭い。数軒が協力しないと実際には活用できない。
- ・最初にできる人からスペースを設け、建て替える時に協力してもらって、徐々にスペースが広がっていけば良い。
- ・ただ塀を撤去するだけだと家の中が丸見えになるので抵抗がある。

○取り組みを促進するためのアイデアについて

- ・自発的に地元でやろうというのは無理である。市の援助が必要である。
- ・無償で土地を提供できない。
- ・スペースを作るために、塀を撤去して、新しく生け垣などに作り替える費用など、個人の負担が大きいのではないかと。無償ということではなく、このような費用を支援してくれると取り組みやすい。

○ルールづくりについて

- ・個人の善意に頼るだけだと難しい。まちづくりの規約などが必要である。
- ・現時点で土地に余裕があってスペースを作れる家は何軒もない。取り組みをつなげていくなると、条例を定めるなど、強制力を持たせる必要があるのではないかと。

○今後の検討の方向性について

- ・大規模土地所有者の意見を聞くことも重要ではないかと。
- ・自分の立場に置き換えて、どうすれば協力できるのか検討しなければいけない。

○今後の意見交換会では、スペースづくりに取り組んでもらうためにはどのような条件が必要なのか整理し、将来に向けてスペースの取り組みを増やしていくための方策を検討していきます。

○次回の開催は1月下旬を予定しています。